



栄老人クラブでは

思わぬ豊漁に大喜び

栄老人クラブでは、生きがいを求めて、地域に役立つ老人になろうと、8年前から滝の沢で養鯉事業を実施していますが、11月13日、鯉の水揚げ作業が行われました。当日は相にくの雨模様でしたが、雨ガッパに身を包んだクラブ員は、1ち余りの鯉をタモですくいあげ、夏場の好天で思わぬ豊漁に大喜びでした。1.5トンの鯉は、キロ700円の安価で、地域の各家庭に配られていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

10月31日現在	(前月比)
総人口 25,021人	(8人減)
(出生 24人 転入 28人)	
(死亡 16人 転出 44人)	
男 12,179人	(8人減)
女 12,842人	(0人)
世帯数 7,287世帯	(5世帯減)

10月1日の国勢調査で

鷹巣町の人口は24,624人に

前回より441人が減少

十月一日に国勢調査が実施されましたが、鷹巣町は前回（五十五年）より四百四十一人（マイナス一・八％）減少し、二万四千六百二十四人となりました。全県では二千七百六十八人（マイナス〇・二％）の減少で、百二十五万三千九百七十七人となり、六十九市町村中、減少市町村は阿仁町のマイナス一〇・八％を最高に五十三市町村（前回は四〇）になりました。一方、増加市町村は天王町の六・〇％を最高に、十六市町村でした。

三〇年間で世帯は二、一五八の増加

国勢調査は、五年に一回行われるもので、国の最も基本的な統計調査です。この調査によって、福祉対策、住宅建設計画、環境整備計画など、国や町の行

政施策立案などの基礎資料として広く利用されるものです。

鷹巣町の合併後の人口の推移をみますと、昭和三十年の二万七千六百六十三人を最高に、五十五年に一時的増加したものの、年々減少しております。

人口が減少することにより、各方面で議論されていますが、社会的減少なのか自然的減少なのかを深めてみる必要があると思います。

人口の減少とは逆に、世帯数では、昭和三十年が四千八百六十四世帯（一世帯平均五・六九人）、六十年が七千二百二十二世帯（二世帯平均三・五一人）と、三十年間で二千五百十八世帯（四四・三七％）も増加しております。

一方では一世帯当りの平均が二・一八人も減少しており、当町でも核家族化の傾向にあることは事実であります。

国勢調査による地区別の人口

年度	七 座	坊 沢	綴 子	栄	沢 口	七日市	鷹 巣	総人口	世帯数	1世帯平均
明治32	2,122	1,810	3,384	1,483	2,342	2,527	2,063	15,731	※秋田県戸口表	
大正2	2,498	2,143	3,873	1,649	2,821	2,951	2,805	18,740	※秋田県統計表	
昭和5	2,401	2,019	3,731	1,575	2,751	3,332	4,972	20,781	〃	
30	1,912	2,552	4,846	1,835	3,240	3,993	9,285	27,663	4,864	5.69
35	1,786	2,357	4,722	1,736	3,130	3,741	9,768	27,240	5,441	5.01
40	1,660	2,180	4,674	1,525	2,771	3,155	10,279	26,244	5,953	4.41
45	1,497	2,046	5,008	1,394	2,957	2,811	9,677	25,390	6,362	3.99
50	1,275	1,949	5,194	1,692	2,974	2,430	9,228	24,742	6,668	3.71
55	1,235	1,951	5,664	1,945	3,151	2,281	8,838	25,065	7,021	3.57
60	1,190	1,970	5,704	1,964	3,084	2,166	8,546	24,624	7,022	3.51
前回比	△ 45	19	40	19	△ 67	△ 115	△ 292	△ 441	1	0.06

鷹巣町の人口動態

昭和 区分	自然動態			社会動態			合 計
	出生	死亡	増減	転 入	転 出	増 減	
30	643	280	363				
35	475	220	255				
40	397	174	223				
45	355	210	145	1,221	1,694	△ 473	△ 328
50	303	199	104	1,197	1,259	△ 62	△ 42
55	269	183	86	966	1,058	△ 92	△ 6
56	248	189	59	961	1,024	△ 63	△ 4
57	258	206	52	926	1,160	△ 234	△ 182
58	271	201	70	915	1,060	△ 145	△ 75
59	290	189	101	912	1,123	△ 211	△ 110

昔よりは転出者が減少している

自然動態と社会動態をみますと、自然動態では、昭和三十年は出生が六百四十三人、死亡が二百八十人で三百六十三人が増加しておりますが、昭和五十年には出生が三百三人、死亡は百九十九人で百四十四人の増加、五十九年は出生が二百九十八人、死亡は百八十九人で百一人の増加。このことからみても、昭和五十年を境に出生は半以下になっ

ております。また死亡は、医学の進歩で平均寿命が延び昭和三十年よりは百人が減少しているものの、自然増加は三百六十三人から百人台に落ち込み、二百五十人から三百人も減少しています。

社会的動態では、昭和四十五年以降の統計よりありませんが、当時と五十九年を比べてみますと、転入は三百九人減少していますが、転出は五百七十一人も減少し、トータルでは、四十五年が四百七十三人の減、五十九

幼少年人口が 五千人を割る

年が二百十一人の減で、年度によって変動があるものの、二百六十人位少なくなっています。

転出者の多くは、中卒、高卒の就職者も含まれるので、出生年次との関係からいちがいに比較することは困難だと思いますが、昔よりは転出傾向に歯止めがかかっているように推察されます。

さらに昭和三十年と五十九年（推計）の年齢区分を比較してみますと、六十五歳以上の老齢人口は二千二百九十四人が増えており、十五歳から六十四歳までの生産年齢人口は、調査年度によって違いはあるもののほとんど変わっていません。

しかし、〇歳から十四歳までの幼少年年齢人口は五千人以上減少しています。

先にも述べたように、生産年齢人口に変化がないということは、町の勢いが衰えていない証拠ではないでしょうか。平均寿命が高くなっていることから、当然老齢人口も増えていくわけです。

ここで考えられるのは、幼少年人口が昭和三十年代のよう

年齢3区分人口

() は%

昭和 区分	幼少年年齢人口 (0歳～14歳)		生産年齢人口 (15歳～64歳)		老 齢 人 口 (65歳以上)		不 詳	
	総 数	うち男	総 数	うち男	総 数	うち男	総 数	うち男
30	10,059 (36.4)	5,120	16,669 (60.2)	8,118	934 (3.4)	366		
35	9,242 (33.9)	4,730	16,890 (62.0)	7,985	1,108 (4.1)	477		
40	7,726 (29.4)	3,965	17,082 (65.1)	8,067	1,436 (5.5)	639		
45	6,299 (24.8)	3,287	17,229 (67.9)	8,069	1,862 (7.3)	828		
50	5,505 (22.2)	2,921	16,893 (68.3)	8,008	2,344 (9.5)	1,003		
55	5,200 (20.7)	2,756	17,038 (68.0)	8,161	2,820 (11.3)	1,196	7	6
59 (推計)	4,825 (19.6)	2,516	16,604 (67.3)	8,019	3,228 (13.1)	1,310	7	6

に二万人を越えているとすれば、現在の鷹巣町の人口は三万人台になるのも夢ではなかったでしょう。

三十年間で一世帯当りの人口が二・一八人も減少していることと、出生数が半以下になっていることを合せて考えると、子供の数の少さが改めて明確に

なります。

昔は一家族に三～四人いた子供が、現在では一～二人という現象はめずらしくありません。

したがって、総体的に人口の減少は、統計でみるかぎり社会動態の減少というよりは、町の活性化とともに自然動態による減少に左右されるように思われます。

赤い羽根募金の

ご協力に感謝します

十月一日から「わかちあう幸せ」をテーマに、赤い羽根共同募金運動が実施されていましたが、このほど実績がまとまりましたので報告いたします。

町民の皆さんの深いご理解とご協力により、目標額の三百九十七万六千円を大幅に上廻る、五百二十八万八千七百三円の募金額となり、達成率は一三三％でした。

今回は毎戸募金や大口募金、職域学校募金などで成果がありました。

皆さんから寄せられた善意は、県や町の共同募金会の配分委員会で厳正に審査を行い、県内福祉施設や団体、町の地域福祉事業に役立たせることになっております。

ご協力いただいた町民や奉仕員の皆さんに厚くお礼申しあげます。

なお、募金内訳は次のとおりです。

▽毎戸募金 二百七十一万八千四百三十四円（五、〇五九件）

▽大口募金 二百七十八万八千七百円（一、一一九件）

▽法人募金 三十八万千円（一

〇三件）

▽街頭募金 八万三千四百七十八円（民生委員他、四校JRC、

羽後銀行募金箱）

▽職域募金 二十三万四千二百四十八円（役場、社福協、総合

歳末たすけあい募金にも

善意をお寄せください

みんなの助けあいで
楽しい正月を



「恵まれない方がたに愛の手を」と、ことしも十二月一日から「歳末たすけあい募金運動」が、実施されることになりました。

町内で在宅療養生活が続けて

庁舎、七日市農協、西部農協、栄農協、沢口農協、鷹巣農協、綴子農協、青山荘、県北報公会、鷹巣地区労、北生協、高坂呉服店、イシヤマの各職員

▽学校募金 五万三千三百二十一円（中央小、南小、竜森小、農

林高校、女子専門学校、寺田服装専門学校）

▽その他 三万五千五百二十二円（青山荘入所者、吉野子どもの村園生、個人募金八人）

いる老人や心身障害の重い人、家族と別れて施設に入所している人、長期に入院している人、母子・父子家庭、そして生活に困っている人たちが、みなさんの善意によって、楽しい正月をむかえられるようにと、物心両面にわたって助けあう運動です。

十二月十日までに、各地区の協力委員の方がたが、お伺いいたしますので、ご理解のうえあたたかいご協力をお願いいたします。

なお、みなさんから寄せられる善意の義援金は、年末までに町内の対象者に贈られることとなります。

■2日（土）4日（月）第五回産業祭及び第十七回文化祭が、鷹巣体育館、鷹巣小学校中央公民館で行われ、会期中天候に恵まれ終日賑わいをみ

た。

■2日（土）臨時町議会が開かれた。坊沢前山間の道路改良に伴う工事契約（一件三千万円以上）三件の議決である。

■4日（日）第三回女子駅伝兼阿仁・鷹巣間駅伝競走大会が小春日和のもとで開催。男子は一般と高校の部で、阿仁



町長 日誌

出川 禮一

11月1日～15日

合から鷹巣まで六区間三十三・七キロに十五チーム、女子は米内沢・鷹巣間の五区十六・六キロに八チームが参加し、沿道の長距離ファンを楽しませてくれた。今大会は、女子の部に遠来の秋田中央高校が出

場し、鷹巣中学校の三選手を含め、東日本女子駅伝の主要メンバーが顔をそろえた。

■5日（火）社会福祉協議会役員が、田沢湖町の社福協及び施設の視察を行い同行した。

■7日（木）昭和六十一年度公立学校施設整備費予算確保

のため、県公立学校期成会役員及び来年度に学校新築が、予定されている関係町長が上京。文部省や県選出国會議員に陳情した。

■9日（土）銀座通り商店会創立三十年記念式典。昭和二十五年の大火後に、都市計画

街路として出来た道路で、米代町の駅寄り商店街が、いわゆる銀座通り商店会を結成。

メインストリートにふさわしい商業活動が続けて三十年に至った。昨今の厳しい現状を

直視し、より一層のご発展を希う。

■10日（日）11日（月）「たかのす町民号」一行約二百人とともに、鳴子温泉から平泉中尊寺などを見学。鷹巣駅、交通公社の主催で、お座敷列車内は、終日歌や踊りが続き

楽しくすごした。

■19日（水）中央協力委員会出席。

■14日（木）綴子地区の「町長と語る会」で、地域の町行政施策に対し、要望、意見などの開陳が行われた。

町立幼稚園

◆申し込み期間

12月1日から12月24日まで

◆申し込み先

入園願書は町教育委員会と各幼稚園にありますので、交付を受けて幼稚園に提出してください。

◆募集人員

北幼稚園＝40人以内 西幼稚園＝40人以内
(昭和56年4月2日から57年4月1日までの出生者)

◆募集範囲

北幼稚園＝綴子地区一円
西幼稚園＝坊沢・七座地区一円

◆入園通知

2月下旬まで保護者に可否を通知します。



保育園と町立幼稚園の

町立幼稚園・保育園では、それぞれ61年4月入園の希望者を受け付けています。

保育園の保育料は、保護者の課税額によって17階層に分けられますが、61年度は各階層とも

下記の表の基準額に3～4%程度の加算が見込まれます。

なお、幼稚園の授業料その他くわしいことは、園児募集要項をご覧ください。

昭和60年度保育料徴収金基準表

(参考)

各月初日の在籍措置児童の属する世帯の階層区分		徴収金基準額(月額)	
階層区分	定 義	3歳未満児の場合	3歳以上児の場合
A	生活保護法による被保護世帯(単給世帯を含む)	0円	0円
B	A階層を除き前年度分の市町村民税非課税世帯	0	0
C ₁	A階層及びB階層を除き前年度分の市町村民税の課税世帯であってその所得割の額が5,000円未満	7,550	5,100
C ₂	所得割の額が5,000円未満	8,300	5,850
C ₃	所得割の額が5,000円以上	9,450	7,000
D ₁	A階層及びB階層を除き前年度分の所得税課税世帯であってその所得税の額の区分が次の区分に該当する世帯	3,000円未満	10,250
D ₂		3,000円以上15,000円未満	12,050
D ₃		15,000円以上30,000円未満	14,500
D ₄		30,000円以上60,000円未満	19,500
D ₅		60,000円以上90,000円未満	25,750
D ₆		90,000円以上120,000円未満	32,350
D ₇		120,000円以上150,000円未満	40,350
D ₈		150,000円以上180,000円未満	45,500
D ₉		180,000円以上210,000円未満	保育単価(ただし、その額が49,850円をこえるときは、49,850円とする)
D ₁₀		210,000円以上240,000円未満	保育単価(ただし、その額が53,950円をこえるときは、53,950円とする)
D ₁₁		240,000円以上270,000円未満	保育単価(ただし、その額が56,450円をこえるときは、56,450円とする)
D ₁₂		270,000円以上	保育単価

保 育 園

◆申し込み期間

12月1日から12月24日まで

◆申し込み方法

▽申請用紙は役場町民課福祉係か各保育園から交付を受けて、福祉係へ提出してください。

▽申し込みに必要な添付書類の提出は、面接日(1月下旬)前に改めて通知します。

◆各保育園と定員…()内は3歳児未満児

- ▽鷹巣保育園＝90人(30人程度)
- ▽南鷹巣保育園＝120人(36人程度)
- ▽七日市保育園＝60人(12人程度)
- ▽綴子保育園＝60人(12人程度)
- ▽中央保育園＝90人(30人程度)
- ▽東保育園＝60人(12人程度)
- ▽竜森保育園＝30人(3歳以上児に限る)

◆入園通知

1月下旬に面接を行い、2月下旬まで保護者に可否を通知します。

おしらせ



建退共融資制度 ご利用ください

この制度は、建設事業主等が福利厚生施設を設置（購入）する場合建設業退職金共済事業本部で、資金を融資するものです。

▽融資対象者①建設業退職金共済制度に加入している事業主②構成員（事業主）の過半数が建設業退職金共済制度に加入している法人格を有する団体

▽融資対象施設①労働者住宅、保健施設、給食施設、教養文化施設

▽貸付条件①限度額は必要な資金の七〇％など。

▽利率①七・一％

▽償還期限①十五年以内（うち一年以内据置期間）

▽償還方法①三ヵ月または六ヵ月ごとの元金均等償還

くわしいことは、建設業退職金共済事業本部融資室（☎〇三

―四三六―〇一五一代表 下
○五東京都港区芝公園一―七―
六 中退金ビル七階へお問い合わせ
ください。

危険物取扱者試験

昭和六十年年度第二回危険物取扱者試験が、来年の一月八日（水）午前十時から、県立大館南高等学校（大館試験場）で実施されます。

受付期間は、十二月四日まで秋田県消防防災課・秋田市山王四丁目へお申し込みください。くわしいことについては、鷹巣消防本部（☎六―一一一九）へおたずねください。

停電のおしらせ

十二月の作業停電は次の地区です。

▽9日①糠沢、向黒沢（午前九時から正午）▽11日①愛宕下舟見町の国道沿い、東横町、米代町▽14日①元町、住吉町（午前八時半から正午）



〔道路改良工事〕
▽工事場所①黒沢字館ノ前山字下モ岱 ②請負額①五千百六十

万円 ③請負者①鷹巣土建工業 河田重夫

▽工事場所①前山字下モ岱②観音堂岱 ③請負額①三千七百五十万円 ②請負者①秋田機械建設・知野次郎

▽工事場所①前山字菅の沢②栗木岱 ③請負額①千四百七十五万円 ②請負者①千葉建設・千葉勲

▽工事場所①前山字観音堂岱②菅の沢 ③請負額①四千六百三十万円 ②請負者①丸栄建設・山内千代治

※工事期限は、いずれも六十二年三月二十日までです。

〔農業災害復旧工事〕

▽工事場所①前山字湯の沢 ②請負額①百四十万円 ③請負者①千葉建設・千葉勲

▽工事場所①今泉字中岱 ②請負額①五十一万五千円 ③請負者①長清建設・長岐清巳

▽工事場所①今泉字大堤下 ②請負額①百二十三万円 ③請負者①丸秋建設・近藤秋男

▽工事場所①今泉字大堤下 ②請負額①三十一万円 ③請負者①長清建設・長岐清巳

※工事期限は、いずれも十二月十五日までです。

〔消防器具置場新設工事〕

▽工事場所①栄字摩当地内 ②請負額①百九十九万円 ③請負者①成田工務店・成田健三

▽工事期限①十二月九日

綴子地区の『町長と語る会』

基盤整備を望む声大きい

十一月十四日午後一時三十分から綴子児童館で、各集落の自治会長十八人が参加して、綴子地区の「町長と語る会」が開催されました。

町長は、南中学校の建設、パイプスの完成見通しなど行政全般について報告したあと、各自治会長から要望や意見が出されるなど、四時間にわたって熱心な質疑が行われました。主な内容は次のとおりです。

▽新田中の会館を新築してほしい①町単補助は百五十万円であり地元も一定額を負担すべきだ。

▽前野町の会館を増築してほしい①ホールを二間くらい出したほうがよい。

▽林道を整備してほしい①受益者負担がともなう。

▽基盤整備を早急に実現してほしい①作業の効率、田畑転用上からも基盤整備は取り組むべきで、関係者の同意が先決である。

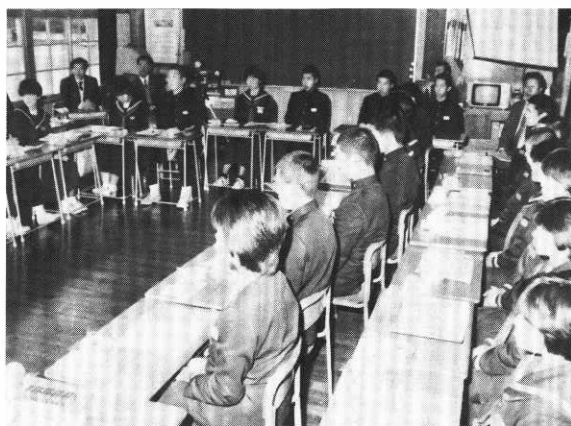
▽鷹中前に防犯灯をつけてほしい①クラブ活動で遅い生徒もいるので検討したい。



町連合青年会（亀山明会長）は、十一月九・十の両日、東京体育館で行われた全国青年大会に、男子バレーボールチームが出場、全国の強豪相手に三位入賞を果しました。

学習と地域活動を進めるとともに仲間づくりの一環としてバレーボールチームを結成。練習の成果が実って県大会で優勝し全国大会に出場したものです。大会では、栃木、和歌山、愛知、熊本の各県代表を破ったものの準決勝で北海道に2-1で惜敗しました。

出場者は▽団長▽佐藤伸▽監督▽藤田寿人▽コーチ▽小笠原一成▽選手▽布田久人、畠山秀男、戸沢直人、相馬昌幸、熊谷成彦、堀部聡、成田正光、中島敏明、津谷仁



町連青バレーボールが 全国青年大会で三位に



鷹阿生徒会交流会で 中学生の意見交換を行う

生徒会の交流を通して、望ましい生徒会活動を追求し、学校生活の向上をめざそうと、初めての鷹阿阿仁部中学校生徒会交流会が、十一月十五日南中学校で開催されました。

交流会には鷹阿阿仁部五カ町村から七中学校の生徒会三役が参加。南中学校の公開中央委員を見学したあと、約一時間にわたって各校生徒会の意見が交わされました。

座談会では、▽生徒数が多いので全員の取り組みに欠ける▽あいさつ運動やベル学習の定着：など苦労話しも多かったが、参加者は、▽他校の活動が参考になった▽今後も情報交換の場にしてほしい：と好評で、生徒会活動に役立てようと自信を深めていました。

ジュニアオリンピック

中島くんが五千メートル競歩で二位

十一月三日、東京都・国立競技場で第十六回ジュニアオリンピックが行われましたが、

Aクラス五千メートル競歩に出場した、鷹阿農林高校三年・中島勝くんが、全国の強豪をおさえ二位に入りました。

参加四十一選手は、一団となってスタートしたもの、中盤からピッチのあがった中島くんは、優位にレースを展開し、韓国の五輪強化指定の

宗選手（22分45秒▽韓国新）について、22分51秒23の大会新記録でゴールしました。

中島くんは競歩の競技歴が浅く、五カ月前から北林強教諭（写真左）の指導を受けて始めましたが、メキメキと頭角をあらわし、七月の県選手権では32分03秒で三位。県体では26分35秒で優勝。東北ミニ国体では23分46秒で四位になるなど、大会ごとに記録を書きかえてしまっていました。



このあとは、一月一日に日本選手権大会を兼ねて元旦競歩大会が国立競技場で開催されますが、中島くんは十キに出場する予定です。

「距離が長くなればスタミナに自信があるので、上位にくい込みたい」と意欲的。秋田県では、なじみの薄い種目ですが、日本の競歩のホープとして期待が寄せられています。

家庭の不和が 少年非行の原因

青森少年院を視察して



鷹巣町少年保護育成委員会（小塚一夫会長）では、青少年の非行防止に役立てようと、十一月九日、青森少年院に足を運んで研修を深めました。

入所者は、窃盗、強盗、強姦、劇毒物乱用、車非行など五十六人の少年で、入所期間は定まっている。少年が社会に適応できるようにきまりやしつけ、職業指導など教育が主体で、勉強もさせるとのことでした。このため、入所して一カ月もすると、犯罪者としての暗い顔が、明るく街角で見かける少年へと変貌し、私たちの見た少年も、職業訓練に打ち込む目の輝きが印象的でした。自分自身を厳しく鍛え、

正常な社会生活が出来るようになったときに退所するそうで、早くて六ヵ月、長くて三〜四年になるそうです。

過ちを犯したのは入所少年自身であるが、背景には、家庭的要因と社会的要因があり、経済的には中流になったとはいえ、家庭的に中流、上流にならないければ少年非行を防ぎえない。

金があれば何でもできるという考えは改めるべきであり、金を出して裏口入学させたり、必要以上に大きいバイクを買い与えるなど、大人の側で犯罪準備軍を育成しているもので、もっと家庭できまりやしつけを身に付けさせるべきです。

また、親が子供を車に乗せて運転しても、制限速度を守らないし「見つからなければいい」ということでは、子供も善悪が身につかない。

家庭では家族の意見が一致していないことが多い。祖母、母がお互いに金を与えても、一方では口止めをしてうそをつくことを教えているようなものです。

子供がスニーパーで物を盗むと「警備が悪い」「友人関係が悪い」「家庭内暴力が起きると警察に」「どうかしてほしい」と、他人に責任を転換する親が増えていくとのこと。

また、学校でも担任や生徒指導の先生でないと知らないということではないけれど、学校長が自信をもって決断をくだし、総ての先生が統一した指導で生徒指導にあたるべきだといわれていました。

現在の犯罪少年には、人に迷惑をかけたという罪の意識がないといわれている。そして、どう償なうて行かねばならないかを認識していない。

そのため少年院では、反省をさせ、償いとして社会に役立つ人間になるよう更生させるもので、規則正しい生活で体力をつけさせ、どんな小さなことでもルールを守るよう、厳格なしつけを身につけさせているということでした。

夜間当番医制(夜間診療)の日程表

午後 6 時30分～ 9 時

12月	曜日	医 療 機 関 名
1	日	佐々木産婦人科医院
2	月	佐藤外科消化器科医院
3	火	盛岡外科医院
4	水	戸嶋医 院
5	木	戸嶋産婦人科医院
6	金	近藤医 院
7	土	北秋中央病院
8	日	奈良医 院
9	月	佐藤外科消化器科医院
10	火	藤原医 院
11	水	佐々木産婦人科医院
12	木	鷹巣病 院
13	金	北秋中央病院
14	土	戸嶋医 院
15	日	戸嶋産婦人科医院

大館地区総合庁舎が 移転になります

新庁舎は、地場資源を活用（木造平屋、銅板屋根）しており12月25日完成の予定です。

■移転場所 大館市片山3丁目14番5号
(大館農業改良普及所地内)

■移 転 日 12月27日 (27日まで旧庁舎で平常どおり業務を行います)

■業務開始日 12月28日

■移転する事務所

大館地区総合事務所

北秋田県税事務所

北秋田土木事務所大館出張所



枝打ちで良質な秋田杉を

良質な秋田杉を産出し、安定した林業経営をめざそうと、11月11日に間伐・枝打ち技術向上講習会と枝打ち競技会が開催されました。とくに枝打ちでは、木材の付加価値を高めるため、慶祝森林公園で、林業経営者60人を前に実技指導を実施。競技会では、15年生杉で枝打ちが行われ、熟練の部で畠山俊三さん、一般の部で大川昭一さんが、それぞれ最優秀賞に輝きました。

昭和31年に発足した鷹巣町銀座通り商店会は、これまでにアーケードや専用駐車場を建設するなど、街並みを整備するとともに町の経済基盤をささえてきましたが、11月9日中央公民館で創立30周年記念式典を盛大に祝いました。また、同商店会は緻密な商業活動とともに、歩行者天国や盆踊り大会を開催するなど、町民の憩いの名物づくりにも努力されました。

銀座通り商店会が創立30年



婦人芸能祭に観衆が600人

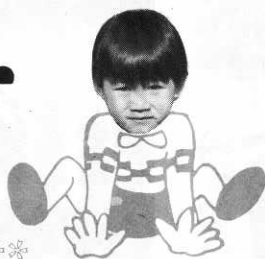
鷹巣町婦人団体連絡協議会では、ことしで6回目の「助け合い婦人団体芸能祭」を、11月10日午前11時から中央公民館ホールで開催しました。芸能祭には、地区婦人会や若妻、農協婦人部など28団体が出演。歌や踊り、仮装などで爆笑をさそい、600人余りの観衆を前に芸達者ぶりを披露していました。なお、収益金は社会福祉に役立てることにしました。

約10,000坪の空間を効果的に活用しようと、貯木場跡地利用懇談会（福田精一座長）が、11月18日役場で開かれました。懇談会はこれまで3回開催されており、各委員からは、商業活動、医療機関、文化施設利用で建設的な意見が出されましたが、今後は行政の立場で検討を加え、21世紀の活力ある町づくりを策定することで意見を集約し、発展的に解散されました。

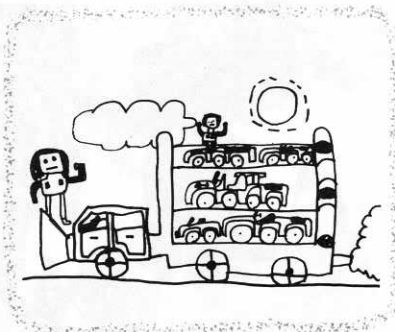
跡地利用で建設的な意見



の広場



ルンビニ幼稚園
ふじもとまなぶくん(6歳)



この頃、薪ストーブを使われている御家庭が多いようです。我が家でも、オイルショックの頃から、居間の暖房を石油ストーブから薪ストーブへ変えました。薪ストーブは、新しい家には不向きなもの、やわらか



松葉町
田村 房子 (49)

薪ストーブの効用

今回のテーマ 『我が家の省エネ』

い暖かみがあり、部屋の空気も以前に比べてきれいになったようです。ただ薪を割る作業がたいへんなのですが、これは大工をやっていた義父が、夏からずっとやってきています。暖房費節約のために薪ストーブにしたのですが、義母はストーブに鍋を上げて、煮込み料理もしています。ガス代の心配をすることもなく、じつくりと、柔かくなるまで煮られます。また炭はとっておき、七輪に入れて魚焼きに使います。さらに灰はわらびなど山菜をゆでる時に使うといった具合です。

対談 親の意見・子供の意見



キササゲ

ノウゼンカズラ科

名前は木のササゲの意、古い時代に中国から渡来した10m位になる落葉木。雷よけ木と言って庭木にもする。果実は冬でも落ちない。利尿薬として用いる。一日量10g、水 400cc。

(南小学校 畠山 益穂先生)



町には血縁も多く、これからは折りにふれ訪れる機会があると思っております。秋も深まり紅葉の季節となり自然に恵まれたふるさとの益々のご発展を妻とともに願っています。▽小笠原さんは、前山出身の方です。

住みよい町づくりのため尽力されておられるみなさん元氣ですか。私は職務の関係で、津軽の海を渡ったのが、町村合併以前の昭和二十七年で、道南の地域で森林づくりに専念し今は、玄関口函館で精いっぱい頑張っています。漁火の見える港町函館は、市街の眺めの良さで定評のある函館山の夜景、またハリストス正教会、修道院、啄木の像など、数かずの名勝として知られています。

て知られています。職場には鷹巣出身者が数多くおり、機会あるごとの思い出話に、ふるさとをもつ喜びを誇りとしているところです。今夏、小学校時代の同級会に招きを受け、何十年ぶりの旧き友と接し、なつかしさがいっぱい、ふるさとの味と美酒をかわし満悦してきました。過去の面影より記憶にない私には、町の隆盛と、うつり変りには、感銘しておるところです。

同級会でふるさとの味に満悦

函館市・小笠原 清 (59)

ふるさとのみなさんへ



ルンビニ幼稚園
まつおたまきちゃん(6歳)



みんな



本格的な省エネはやっていないのですが、「塵も積もれば山となる」の諺のように、昔からの知恵に学びながらやっている、これが我が家のささやかな省エネ法です。

ぬるま湯からの脱皮



妹尾館 佐藤 陽子 (29)

物資の豊かな時代に生まれ、何一つ不自由なく育った私、他人の釜の飯を食べないと苦労がわからないから、ということとで親元を離れたものの、周囲の環境に恵まれ、結局はかゆいところ



静電気

冬になると
脱衣時に火花

がとんだり、すそがまつわりつく、いわゆる「静電気が起きる」ことがよくあります。これは、摩擦することによって起きる電気がそのまま衣類の中にたまっているために起こります。

特に冬に静電気が起こるのは、空気の乾燥により衣類の水分が蒸発するため、電気が流れない

ろにいつでも手が届く、といったぬるま湯の中に浸っているような生活をしてきました。

現在もその生活習慣がぬけず、みてもないテレビをつけていたり、洗濯機の水を流しっぱなしで忘れていたり、ちよつと気をつけられればできることが、日常平気で行なわれ、省エネなんて頭のスミにもありませんでした。今回このテーマで書いてくれと言われた時は、自分の現在の生活に恥かしささえ感じました。将来、いつか私たちに家計を任せられるときがくるのです。

その時になって安心して任せてもらえるよう、ぬるま湯の生活から脱皮し、これから省エネ：ということを頭のスミにおき、生活をしていきたいと思っています。

ままたまるからです。

最近市販されている静電気防止剤は、陽イオン(カチオン)界面活性剤を主成分としており、繊維の表面にカチオンの親水性によって水分を呼びこみ、アースの働きで静電気を流す原理を利用したものです。静電気防止剤には浸透式とスプレー式がありますが、効果はいずれも一週間程度。コートやスーツなど水洗いできないものにはスプレー式が、スリッパ、作業着、靴下などには浸透式が適しています。

鷹巣農林高校では、昭和30年に校内の演習林約7百坪を伐採して、運動場の拡張工事が行われた。松の伐採、土砂の運搬などすべて生徒の手で行われ、女生徒もモッコかつぎをした。現在は300トラック、野球場、テニスコートが整備されている。



たかのすの昔

おしらせ



一線美術会運営委員 九島家二氏

十二月の健康相談

十二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十一日と二十五日です。

時間は、午前九時三十分から午後三時まで、血圧測定のほか尿検査、体重測定など行います。また、午前中は健康教育で、高血圧の日常生活、脳卒中予防について、午後からは健康体操などを行います。

一歳六ヵ月児健康診査は、三日・五日・十九年四月、五月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

母子手帳、問診票、バスタオルをお持ちください。

フッ素イオンむし歯予防は、三日です。

受付時間は、午後一時三十分から三時まで。対象者は満三歳児以上で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

乳児健康診査は、十二日です。対象者は六十年七月十六日から、八月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

離乳食指導と七ヵ月児健康相談は、十二日です。

対象は六十年四月十六日から五月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

※場所はいずれも鷹巣保健所で行ないます。

母親教室

初妊婦を対象とした、母親教室は次のとおりです。

妊娠中から正しい知識を身につけて、十分な健康管理を行ない、安心して出産をむかえるようぜひ受講してください。

▽日程 十二月四日と六十一一年一月七日の二日間で一コース。時間は午前十時から午後三時まで。

▽場所 中央公民館保健相談室

▽受講内容 映画(生命創造、すばらしい母乳)、講話、調理と試食、実技(妊婦体操、赤ちゃんのお風呂の入れ方)など行ないます。

※歯ブラシ、母子手帳、昼食、ズボン(トレパン)をお持ちください。

善意

▽鷹巣教会幼稚園保護者会(会長・山田陽子)からチャリティバザーの収益金として三万円
▽鷹巣町婦人団体連絡協議会(会長・中島喜代)から婦人芸能祭収益金の一部として二万円
▽日専連鷹巣会からびつくり商業祭収益金の一部として一万円
町社会福祉協議会へ寄付金が

ありました。ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽坊沢大町 寺田由松さんから亡母タカさんの香典返し

▽糠沢 佐藤彦三郎さんから亡母キエさんの香典返し

▽松葉町 成田忠一さんから亡母キヨさんの香典返し

▽旭町 河田喜代治さんから、亡母シテさんの香典返し

▽東上綱 河田敬之助さんから亡父邦之助さんの香典返し

▽太田 成田西之助さんから亡母ノブさんの香典返し

慶弔だより

11月1日・11月15日

誕生おめでとうございます

福原 智史(貞一郎)長男 摩当
小塚 香澄(薫)二女 舟場
高橋 和宏(吉隆)二男 綴子町
岸 いづみ(秋男)三女 摩当
中嶋 健智(健文)長男 舟場
佐藤 優子(元範)長女 小田
成田 賢聡(義人)長男 舟見町

島山 友希(一則)長男 七百市太畑
田中 裕也(正廣)二男 高野尻
永井 航(義信)二男 相善町
田中 陽子(竹信)長女 松葉町

二人の前途を祝福いたします

佐藤 義暢 妹尾館
米沢 敦子 糠沢
齊藤 勉 下町
藤嶋 明美 舟見町
三沢 一男 昭和
青柳 経子 大館市
藤島 弘行 新舟見町
熊谷 沙織 深関
葛西 俊逸 材木町
渡邊 里香 舟見町
九島 哲美 旭町
小林 加代子 上小阿仁村
簾内 裕之 今泉
津谷 優子 坊沢大町
桜庭 勉 舟見町
長岐 みゆき 住吉町

おくやみ申しあげます

成田 甚四郎(62歳) 四渡
恵比原 マン(86歳) 新田中
成田 ノブ(82歳) 太田
三澤 吉次(74歳) 元町
和田 茂雄(67歳) 大町
近藤 ナツ(79歳) 南鷹巣
佐藤 テツ(55歳) 藤株
河田 カツ(66歳) 松葉町
佐藤 惣一郎(81歳) 小森